授業科目	保育実習指導Ⅲ					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	4	開講時期	通年
担当教員	文屋　典子						
授業概要	児童福祉施設の機能・役割、子どもを理解する視点、保育士に求められる知識・技術と、保育実習Ⅲに臨むにあっての姿勢・心構えについて確認する。事前学習を深め、各自の実習課題を明確にする。実習に必要な書類を作成し、事前訪問を行い、実習記録の書き方、保育指導案や個別支援計画の立案について学ぶ。守秘義務や危機管理について確認する。実習後は個別面接により実習の振り返りを行い、各自の実習での学びを整理し、実習報告会にて発表する。						
授業形態	講義			授業方法	グループワーク、プレゼンテーション		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．実習に臨むにあっての姿勢・心構えを身につけている。 2．実習施設の機能・役割と保育士の業務について理解している。 3．子どもを理解する視点を習得している。 4．保育に関する知識や技術を実践し、適切な実習記録や支援計画を作成することができる。 5．守秘義務や危機管理などを理解し、専門職としての自覚に基づいた行動ができる。 6．実習での体験や保育活動を専門的技術として概念化し、体系立てていくことができる。
理想的レベル	標準的なレベルの１～６に到達したうえで、自己の課題を明確にし、その改善に向けた取り組みを実行できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	40%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	40%	
レポート外の提出物		
その他	20%	事前学習への取り組みや実習に必要な書類の作成等、実習に向けた準備状況を評価する

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	WE21633J

学習課題（予習・復習）	１回の学習目安（時間）
事前学習に取り組むための資料収集を行う。保育実習Ⅰの実習記録やレポートを振り返り、自身の課題と保育実習Ⅲにおける目標を明確化する。 自身の考えや体験を正しく言語化できるよう、既習科目の復習を行う。	1

授業計画	
第１回	テーマ：オリエンテーション 実習に臨む心構え、授業の進め方、事前学習を行って理解しておくべきこと、各自が明確な課題をもって実習に臨むための準備を進めていくことを確認する。

第 2 回	テーマ：事前学習計画の確認と書類作成 事前学習計画を確認し、事前学習テーマを決定する。実習生紹介票、実習誓約書、実習計画書の書き方について指導する。
第 3 回	テーマ：実習施設の現状と機能役割 実習施設の現状と機能役割について解説する。各自の実習課題とむすびつけ、さらに事前学習を深めるべき事項について確認する。
第 4 回	テーマ:実習施設における子どもの生活と保育士の業務について 実習施設における子どもの生活と保育士の業務について解説する。各自の実習課題と結び付け、さらに事前学習を深めるべき事項について確認する。
第 5 回	テーマ：子どもの特性やニーズに応じた支援 子どもの特性やニーズに応じた支援について、事例を通して考察し、実習で求められる基本的知識と援助技術について説明する。
第 6 回	テーマ：子どもの特性やニーズに応じた支援 子どもの特性やニーズに応じた支援について、事例を通して考察し、実習で求められる基本的知識と援助技術について説明する。
第 7 回	テーマ：実習日誌の書き方 視聴覚教材を用いて記録を書くことを実践し、実習日誌の書き方を学ぶ。
第 8 回	テーマ：実習日誌の書き方 視聴覚教材を用いて記録を書くことを実践し、実習日誌の書き方を学ぶ。
第 9 回	テーマ：実習直前指導 実習前の最終確認事項と事前訪問の実施について説明する。
第 10 回	テーマ：実習の振り返り 個別面談による実習の振り返りを行い、実習を通しての学び・気づき・課題・反省等を整理する。
第 11 回	テーマ：実習報告会の準備 実習を通しての学び・気づき・課題・反省等を整理し、実習での体験や保育活動を概念化し体系立て、報告会の準備を進める。
第 12 回	テーマ：実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。
第 13 回	テーマ：実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。
第 14 回	テーマ：実習報告会 実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。
第 15 回	テーマ：実習報告会

	実習での体験や保育活動を概念化し体系立てて報告する。自分自身の実習施設以外の児童福祉施設で実践される保育・養護活動と多様な福祉的課題に関心をもち、他者の発表を聞き、体験を共有する。
テキスト	「保育実習マニュアル」　西南女学院大学保健福祉学部福祉学科　子ども家庭福祉コース その他、配布資料により授業を行う。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	実習施設の種別に応じて、事前学習段階で目を通しておくべき文献や資料を紹介します。主体的かつ積極的に各自の学びを深め、実習に臨む準備を整えましょう。
課題に対するフィードバックの方法	実習に関する書類や実習日誌の書き方に関する提出物等は毎回添削を行って返却します。
学生へのメッセージ・コメント	実習施設の役割と機能に関する知識、子どもの特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術が必要となります。 実習施設の役割と機能に関する知識、子どもの特性やニーズを理解するための知識と対人援助技術・保育技術について、関連する科目の復習を丁寧に行いましょう。 実習に関連する資料として事前学習で用いた資料は一冊のファイルに綴じておきましょう。実習中の考察や実習後の振り返りにも役立ちます。